事業番号	216

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市農業集落排水事業特別会計繰出金							担当部	上下水道部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	下水道課	
	事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	庶務係	
	総合計画分野別計画 主目的	6 都市基盤 25 下水道 1 公共下水道の普及を推進します									
	総合計画分野別計画 副目的									実施計画対象	○
	予算区分	款	6	項	1	目	4	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	公共下水道事業繰出金の運用について(通知)									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	農業用用排水の水質保全、農村生活環境の改善及び公共水域の水質保全のため農業集落排水区域内の普及を推進し施設の適切な管理を行う。									
	内容（手段）	◇H26年度の実施内容 総支出額から自主財源(使用料、受益者分担金)の不足分をを繰出金にて賄っている。 主なものは平成16年度までの借入元金・利息28,632千円(元金 21,120千円　利息7,512千円)、大草浄化センターの維持費 20,959千円のうちの8,150千円、人件費 5,598千円(全額)、マンホールポンプの設置(3,213千円のうち2,684千円)の繰出金を受けている。 [H26年度繰出金] ・一般管理費 人件費 5,598千円 一般事務費 323千円 維持管理費 8,150千円 ・建設費 排水整備事業 2,684千円 起債償還元金 21,120千円 起債償還利子 7,512千円 その他 4,138千円 合 計 49,525千円 [H27年度繰出金] ・一般管理費 人件費 4,763千円 一般事務費 433千円 維持管理費 19,052千円 ・建設費 排水整備事業 4,263千円 起債償還元金 21,514千円 起債償還利子 7,119千円 その他 3千円 予備費 1,000千円 合 計 58,147千円									
	受益者負担	有	一戸当り 296,000円				H26年度収入済額 592千円				

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費			千円	39,988	51,987	49,525	58,147
	正職員	従事者数		人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費		千円	0	0	0	0
	その他職員	従事者数		人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費		千円	0	0	0	0
	費用合計			千円	39,988	51,987	49,525	58,147
	対前年比			%		130.0	95.2	117.4
財源	一般財源			千円	39,988	51,987	49,525	58,147
	国・県支出金			千円	0	0	0	0
	その他財源			千円	0	0	0	0

事業番号	216

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	マンホールポンプ整備	基	目標	2	2	2	1
			実績	0	0	1	
	日常定期点検実施日数	日	目標	104	104	104	104
			実績	104	104	104	
			目標				
			実績				

業績	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	接続率 (実質接続率[空家,更地等除])	%	目標	80	80	80	80
			実績	71.2%(73.5%)	73.3%(75.7%)	75.5%(78.3%)	
	重大な事故及び故障(運転不能)の発生件数	件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	

事業の自己評価			
平成26年度の実施結果	事業の達成状況		・接続率は、75.5%へと改善された。 ・マンホールポンプ1基設置。 ・大草浄化センターは、日常点検を実施する中、処理施設等保守管理、電気保安管理、受配電設備保守点検、水質測定器保守点検、特別管理廃棄物処理業務及び汚泥処理業務の良好な維持管理をおこなうことができた
	事業実施における課題		①地区の住民に接続依頼使用にも人口減少地区であり老齢化が進んでいるので当面接続率の飛躍的な向上は望めない ②一般管理費(1・1・1)、維持管理費(1・1・2)に対して自主財源(使用料、分担金)の比率30.3%と基本的に低い。 ③各設備の保守点検を実施しているが稼動後10年が経過するので主要設備のオーバーホールを検討している。
	事業を縮小・廃止したときの影響		起債償還(元金及び利子)を優先させることとなり、結果的に大草浄化センターの排水の水質悪化が懸念される。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)		・引き続き未接続世帯に対する接続促進とともに維持管理費の削減に努める。 ・担当の職員は、専門的な知識を得るための研修に参加し、施設を維持管理するために必要な資格を取得させる。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの (対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由		大草地区の汚水を処理する施設として、市民の生活環境上重要な施設であり、農業集落排水施設の維持管理は必要不可欠である。
	28年度以降の改善案		引き続き接続率の向上を図るとともに現施設の維持を図りつつ採算性を考慮し将来公共下水道への接続可能性を探る。

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	維　持	一次評価のとおり。